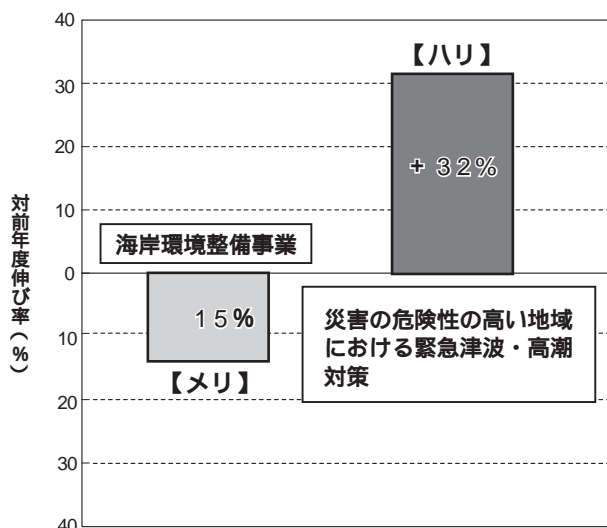


。効率的・効果的な海岸事業の推進

1 事業実施の効率化による供用効果の早期発現

災害の危険性の高い地域における緊急津波・高潮対策への予算の重点配分など、メリハリある配分を行うとともに、事業実施におけるコスト縮減と事業実施箇所の選択と集中とを一層推進し、供用効果の早期発現に努める。

平成20年度予算要求における投資のメリハリ

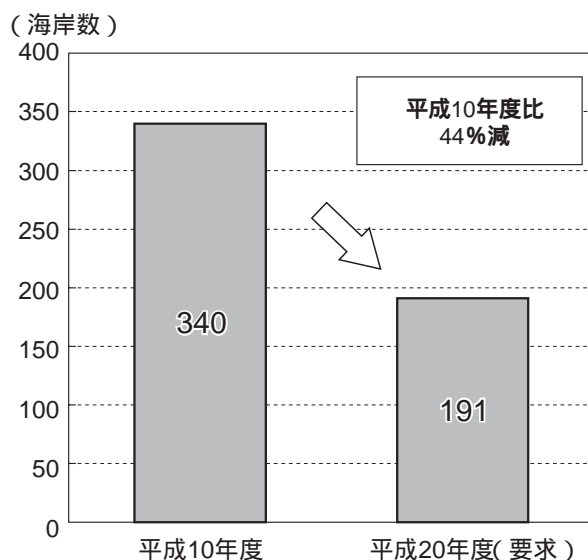


【ハリ】	平成20年度 要求額	平成19年度 予算額	増減
災害の危険性の高い地域 における緊急津波・高潮 対策	152億円	116億円	36億円

【メリ】	平成20年度 要求額	平成19年度 予算額	増減
海岸環境整備事業	8億円	10億円	2億円

注) 上記計数は国費である。

事業実施海岸数の削減



事業間連携の強化

所管の異なる隣接海岸における事業について、所管の一元化（海岸法第40条2項の活用）を推進し、効率的な海岸整備に努める。

また、道路事業等との連携による津波・高潮対策の推進や港湾整備事業との連携による侵食対策の推進など事業間連携を強化する。